

Heart Care Clinic

ハートケア うえいけだ

創刊号

2005.11.1



ホテルから見たミシシッピー川

ハートケアうえいけだ

市立池田病院近くの上池田（うえいけだ）の地で天野内科循環器科を開設し1年がたちました。この間、多くの方々にアドバイスをいただき感謝いたしております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

17年間勤務した池田病院への赴任は昭和62年7月にさかのぼります。生活スタイルの変化にともない、当時すでに循環器疾患の患者さんが増えてきていました。そこで、前任の病院で循環器病の勉強をしていた私が循環器部門を担当することになりました。しかし、消化器疾患中心に運営されていた病院へは大学病院からの応援もなく孤軍奮闘の時代が長く続きました。この間、診断・治療のアドバイスをいただくため近隣病院の先生方にお世話になりました。

循環器病の診断・治療で中心的な役割を果たすのはカテーテル検査ですが、当時は池田病院ではできず北野病院の石村先生（現石村内科循環器科院長）にお願いしていました。毎週水曜日の検査日には、朝早く北野病院に出かけていたことが思い出されます。先生のもとで最新の検査技術は習得できましたが、検査装置が非常に高価であったため池田病院でカテーテルを始めるまでにはかなりの時間が要しました。

池田病院でカテーテル検査がはじまったのは平成5年1月20日でした。その日の朝、緊張して病院に入ったのが記憶に残っています。院内スタッフの充実がない状況で、検査を継続できたのは石村先生を初めとする北野病院循環器内科の先生方の全面的なバックアップのおかげでした。検査後の治療でも多くの先生方の協力がありました。カテーテル治療では大阪医科大学付属病院の故弘田雄三先生や国立循環器病センターの宮崎俊一先生に、バイパス手術では湘南鎌倉病院や葉山ハートセンターの須磨久善先生（現心臓血管研究所）にお世話になりました。当時考えられる最善の治療を選択してきたのではないかと自負しております。

平成9年10月、池田病院新築移転にともないCCUなどの最新の循環器病治療施設が完成し、スタッフも増え緊急治療への対応も可能となりました。しかし、まだまだ十分でなく更なる充実が必要でした。平成16年、ようやく大阪大学医学部付属病院から橘先生が、国立循環器病センターから角岡先生が着任され、安心して退職させていただくことができました。

循環器疾患において入院治療の必要性は言うまでもありませんが、退院後の再発予防（二次予防）、さらにすすめて入院治療にいたらないための一次予防こそ重要と考えています。毎日の外来診察を通じて、すこしでも皆様方のお役に立てればという気持ちでクリニックを開設いたしました。普段は予約診察ですが、少しでも調子が悪いときや不安なときには遠慮なく診察におこしください。

— ころとからだのケアのために —

ご存知
ですか

池田病院の外来で 「病診連携」のパンフレットが配られています

医療法改正（厚生労働省）で、病院と診療所の「機能分担と連携」の推進がもてられています。病院では入院治療や緊急を要する診療を中心におこない、診療所では慢性疾患の通院治療をおこなう…これが機能分担で、緊急治療などで入院、病状が安定すれば退院し診療所に再び通院する…これが連携です。

このような観点から池田病院でも「機能分担と連携」が積極的にすすめられています。

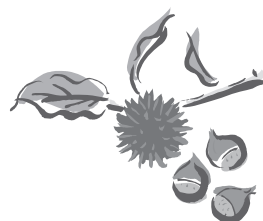
パンフレットにはこれに関連して、来年からの外来診療変更が記載されています。

- 1) 初診時特定療養費の増額（紹介状持参の場合はいままでどおり不要です）
- 2) 紹介状持参の場合の優先診療
- 3) 内科の午後一般診療の廃止

「機能分担と連携」への取り組みは市立池田病院だけではなく、近隣の豊中・箕面の市立病院でもおこなわれています。紹介状作成については気軽に声をかけてください。高度先進医療をすすめる国立循環器病センター、大阪大学医学部附属病院でも同様です。当院ではこれらの専門医とも密接な連携をはかっております。

経歴からお分かりのように、当院は北野病院とも密接な関係があり、私は北野病院循環器内科の「かかりつけ医」でもあります。

さまざまな病院や診療所と連携して皆様方に良質の医療を提供する。これこそ、天野内科循環器科のめざすものです。



天野会総会

お知らせ 及び 入会のお誘い

天野会は、カテーテル治療やバイパス手術をされた方を中心に、健康管理に関する情報の交換および知識の普及を図るために設立された心臓病友の会です。現在、天野内科循環器科通院中の方を中心に30数名の会員がおられます。第1回総会は平成16年2月14日に開催されました。今年も2月に総会が開催され、国立循環器病センター宮崎俊一先生にご講演いただいております。来年度の総会は2月18日（土曜日）に開催予定で、講演は須磨久善先生にお願いしております。会員の方々には詳細が決まり次第連絡させていただきます。入会ご希望の方は天野内科循環器科受付にお申し出ください。

世話人代表 高橋 望



ニューオーリンズの復興を願って



2003年4月、ニューオーリンズを訪れました。アメリカ内科学会に出席するためです。

ニューオーリンズの町はジャズの発祥地。アメリカ合衆国の中では歴史のある町として、アメリカ人の「訪れたい町」ベスト3に入っている観光名所です。一方でミシシッピ河畔の船着き場が再開発され、近代的なホテルやコンベンションセンターが立ち、世界中の内科医が集まる大きな学会も開催できる活気あふれる町でした。

私も学会の合間をぬって、フレンチクォーターにジャズを聴きにいったり、古い倉庫をリメイクしたレストランで「ボ・ボー」と呼ばれるサンドイッチを食べたり、アメリカで1番古いストリートカーに乗ってガーデンディストリクトを訪れ、オーデュボン公園を散策したりと楽しみました。

このニューオーリンズが今夏のハリケーンで壊滅状態になったというニュースには本当に驚きました。もうあの魅力あふれる町は戻ってこないのでしょうか？ 元気にジャズを演奏していた老ジャズマン達はどうしているのでしょうか？ 1日も早いニューオーリンズの復興を願ってやみません。



フレンチクォーター



Street Car 今使われ続けている路面電車の中で米国で一番古いらしい



Street Carの車内



ガーデンディストリクトの古い家

